

# 不定語と否定語の用法について

スペイン語には一連の不定代名詞 (pronombres indefinidos) と呼ばれる語があり、それぞれに「肯定」と「否定」があります。この意味で「肯定的不定代名詞」、「否定的不定代名詞」と呼ぶことができます。しかし、一般の教科書では「不定語」、「否定語」と呼ばれていることが多く、また定着しているので、ここではそれに従います。基本となるものは以下の三対です。

	不定語 (肯定的不定代名詞)	否定語 (否定的不定代名詞)
物	algo 何か	nada 何も～ない
人	alguien 誰か	nadie 誰も～ない
形容詞的	alguno ある～	ninguno どんな～もない

〈alguno〉と〈ninguno〉は語源的にunoの合成語です。ですから、語尾はuno(⇒un, unos, una, unas)と同じ変化をします(ただし、複数のningunos,-asは普通使いません)。その他のalgo, nada, alguien, nadieには性数変化はありません。

否定語で気をつけなければならないのは、否定文における使い方です。否定語が動詞より前に来ると〈no〉は不要ですが、後に来ると動詞の前に予め〈no〉が必要です。

Al principio **nadie** estaba de acuerdo conmigo.

最初は**誰も**私に賛成では**なかった**。

Al principio **no** estaba **nadie** de acuerdo conmigo. 《同上》

しかし、〈no～alguno〉のような用法もあります。以下の例を比べてみましょう。

**No** tengo **ningún** problema. **全く問題ない**。

**No** tengo problema **alguno**. **全く問題ない**。

これらの意味はほぼ同じなのですが、前者が一般的な表現で後者の方が強制的と言ってよいでしょう。ただし、この用法の際は〈alguno〉は名詞の後と決まっています。一方、“**No** tengo problema **ninguno**.”は可能で、これが一番強調された言い方のようです。

〈alguno〉と〈ninguno〉は後に名詞を取ることが多いのですが、直接ではなく前置詞〈de〉を挟んで名詞(または代名詞)を取ることもあります。

En **algunos países latinoamericanos** se habla español.

**いくつかのラテンアメリカの国**ではスペイン語を話す。

En **algunos de los países latinoamericanos** se habla español.

**ラテンアメリカの国のいくつか**ではスペイン語を話す。

実はここでは違いがほとんどありません。しかし、〈algunos de～〉のときの名詞は何らかの意味で《グループ》を表していると考えてよいでしょう。

次は《de + 代名詞》の例です。

¡**Alguno de ustedes** es el asesino!

**あなた方のうちの誰か**が殺人犯だ!

〈alguien〉は「ひとかどの人、重要人物」、〈nadie〉には「取るに足らぬ人、つまらない人」という意味で使われることがあります。

Él se cree **alguien**. 彼は自分を**重要人物**だと思っている。

〈algo〉と〈nada〉は程度を表す副詞として使うことがあります。

El enfermo está **algo** mejor hoy.

今日病人は**いくらか**よくなっている。

Ese chico a mí no me gusta **nada**. Más bien lo odio.

その子は**全く**好きではない。むしろ大嫌いだ。

さて、これら以外にも文法的には不定語ではないのですが、「肯定」⇔「否定」の関係にある語があります。文法的働きは、副詞であったり、接続詞であったり、前置詞であったりします。便宜上ひっくるめて「肯定語」

「否定語」と呼んでおきましょう。以下に主なものを挙げます。

	肯定語	否定語
《付加》の副詞	también ～もまた	tampoco ～もまた～ない
《頻度》の副詞	siempre いつも	nunca, jamás けっして～ない
《等位》の接続詞	y そして～	ni ～も～ない
《等配》の表現	tanto...como... ～も～も	ni...ni... ～も～も～ない
《付随》の前置詞	con ～と一緒に	sin ～なしで

これらは日本語に訳しにくいので例文を見て理解するのが早道です。

Los estudiantes protestan contra la reforma educativa y sus profesores **también**.

学生たちは教育改革に反対している、彼らの教師たち**もまた**。

— Yo no tengo fuerza de voluntad para seguir una dieta.

私はダイエットを続ける意思の力が**ない**。

— ¡Yo **tampoco!** **私も**ない!

〈nunca〉と〈jamás〉はよく似た意味ですが、学習者はまず前者を覚えればよいでしょう。と言うのも、〈jamás〉はやや口語的で意味がより強い感じがします。強調するために〈nunca jamás〉とくっつけて使うこともあります。

**Nunca jamás** volveré a cometer el mismo error. ¡Te lo juro!

同じ過ちは**二度と**けっして繰り返さ**ない**。誓うよ!

等位の接続詞《～y～》に相当する否定語が《～ni～》です。

Mi hija estudia **y** trabaja. ¡Qué maravilla!

うちの娘は勉強する**し**仕事もしている。素晴らしい!

Mi hija no estudia **ni** trabaja. ¡Qué pena!

うちの娘は勉強**しないし**仕事もしていない。残念!

最初の動詞の前にも〈ni〉を付けて、〈ni～ni～〉にするとより強調になります。

Mi hija **ni** estudia **ni** trabaja.

次に「～も～も」と2つの要素を両方も肯定する《tanto～como～》という表現です。

En esta región se vive muy bien **tanto en verano como en invierno**.

この地方では**夏も冬も**とても快適に生活できる。

最後に前置詞《con ⇔ sin》を使った諺を紹介します。

La letra **con** sangre entra. 学問は血を流して身につく。

No hay atajo **sin** trabajo. 苦労なくして近道はない。

学問には血のにじむような努力が必要で、王道なしということです。

¡Hasta la vista!

文 仲井邦佳



仲井邦佳

なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。

京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。

著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語 一文法と演習』(共著、同学社)などがある。